

第 33 号

平成30年10月14日

山水会

発行

北海道山水会

〔北海道公立学校

事務職員協会OB会〕



会長挨拶

会長 田村 裕明

今年度は、役員改選の年に当たり、去る9月8日に開催の総会において会長を仰せつかりましたことを、紙上を借りて報告させていただきます。

さて、本年は、山水会の設立から50年という節目の年であり、この50年を振り返ってと思っていましたところに台風21号、そして胆振東部大地震という2つの大きな災害が北海道を襲いました。

ここ数年、全国的にも熊本地震、中国地方での豪雨、西日本での以上高温と今までに経験をしたことの無いようなことが起こっております。この自然現象は、身近にも感じられます。梅雨のない北海道と言われておりましたが、7月の長期に渡っての雨、その後の雨の無い乾燥状態の高温と、適度という言葉をおぼろげに忘れるような天候の連続です。

改めて、50年という半世紀の時の流れと、「災害は忘れた頃に」という言葉を考えて見ますと何となく、その意味がわかるような気がします。計算しやすいようにしますと、西暦で今年が2018年で50年前は1968年です。この年にも北海道で十勝沖地震が発生しております。

私が大学3年の時で、北海道から来ていた1年生の後輩の父親が炭鉱で働いており、坑道に入っていたら大変だと家に連絡をとっていたことを思い出します。まだ、全世帯に電話がついていないので連絡も至難の時代でした。今回の地震の際は、携帯電話での連絡と隔世の感があります。

この、十勝沖地震は、当初は震源地が特定できずに、北海道十勝地方の海底ということで十勝沖地震と発表されましたが、後で震源地は青森寄りの太平洋の海底ということで三陸沖地震として記録されたとのことです。現在は、震度4以上の大地震が起きるときには、携帯電話やテレビに緊急地震情報がアラームで流れてきます。この情報伝達の差などは、50年の時の流れを顕著に表しているのではと思います。

この50年という時の流れの間に、当時20代だった人は、70代になり、同年代の高校・大学時代の仲間たちにも亡くなっている人が何人もおり、前回の災害を伝える人の数が減っていること、また、人間の記憶は確実に覚えているのは、10歳以降位からとも言われておりますから、前回の地震の認識度が高い人間は50歳代後半から60歳代ということになります。経験値の低い年代の人は、災害という言葉での理解よりないのではと思います。因みに、現在の若い世代の人たちへの聞き取りをしますと、日本がアメリカと戦争していたこと知らずに「本当!」という反応を示す人も多数いるという調査結果もあります。「戦争」や「災害」等を含め、いろいろな事柄を見ますと50年という時の流れは、人間の記憶の中で物事を忘れずに留めるための区切りを測る物差しになるのではと思ってしまう。

このように考えますと、後世に伝えるために50年記念誌を発行したことの意義もあるのではないかと思います。

最後になりますが、会員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。

総 会 報 告

総会は、胆振東部地震の影響も冷めやらぬ中、9月8日（土）ホテル札幌ガーデンパレスで15時から開催されました。地震の影響も残り多くの方々から電話等で総会開催について心配される声が多い中來賓を含め35名の方々が出席されました。



開会の言葉に続き、昨年度総会以降に逝去された船本敏雄様はじめ3名の方々、また、先に他界された先輩各位に黙祷で哀悼の意を捧げました。続いて、総会次第により田村会長からの挨拶があり、その中で本年度、山水会は50周年の節目の年になり記念誌を発行について触

れられ、皆様のご協力により完成された旨お話がありました。各テーブルには50周年記念誌が数冊置かれ参加者は手にとって見られていました。

総会資料に基づき新入会員紹介では、田中副会長から3名の方々を紹介、今年度は新入会員として出席されていた木高 繁氏から一言ご挨拶がありました。

次に、本年めでたく、卒寿・傘寿を迎えられた6名（卒寿3名・傘寿3名）の方々を杉本副会長から紹介、今年度傘寿のお祝いを受けられ総会に出席されていた宗片 啓氏に記念品の贈呈を行い本人から感謝の言葉が述べられました。欠席された方々には本人宛事務局から記念品を送らせていただきました。受賞された皆様には、健康に留意され今後とも本会の発展のためご指導下さるようお願い申し上げます。

その後、議事に入り、議長に石川正幸様を選出し、事業報告、会計報告、監査報告の議事が審議され、満場一致で原案どおり承認いただきました。議長の手際良い進行により、全て議事を円滑かつ迅速に処理し無事予定時間内に終了することが出来ました。

総会終了後は、來賓である教育二団体の北海道公立学校事務職員協会の田島会長様、北海道公立学校事務長会の阿部会長様から、各々の会の活動状況とそれぞれの課題など資料を基に丁寧なご説明をいただきました。

昨今の道立学校を取り巻く状況、特にここ数年の劇的な変化は、私達が想像をする以上で今更ながら驚かされるとともに、現職の皆様のご苦勞を改めて知ることが出来、時代の変化を感じました。

懇親会は、出席者の中で長老である柴 元繁様の乾杯のご発声で祝宴が始まり、しばし歓談したのち、恒例のビンゴゲームとカラオケで今年も盛り上がり、最後に出席者を代表して木高 繁様の乾杯により懇親会の幕を閉じ、予定どおり総会及び懇親会の全日程を終了することが出来ました。



平成30年度 山 水 会 役 員

相 談 役	中村 康元、宗片 啓、後藤 隆男
会 長	田村 裕明
副 会 長	川口 繁光（庶務）、田中 耕子（会計）
幹 事 長	佐々木 修
幹 事（庶務）	佐藤 秀雄、木津川雅士、古田 敏彦 俵屋 隆、石尾由美子
幹 事（会計）	鶴田 靖子
監 事	加納 諭、石井 巧

（今年度は役員改選がありました）

パークゴルフ大会盛会で終了

すがすがしい春の一日を、健康管理維持増進を図るため、本会事業の唯一のレクリエーションとして、平成15年度よりパークゴルフ大会を実施しています。

第15回目を迎えた今年は、会場を昨年と同じ「PGJ倶楽部 南幌コース」において6月10日（日）参加者23名で実施しました。

当日は、新さっぽろ駅に隣接する「区民センター」前に午前9時30分の集合時間には1人も遅れることなく送迎バスに乗り、PGJ倶楽部南幌コースに向かいました。

南幌温泉に隣接し昨年も実施しているコースなので、昨年以上の好スコアを期待しながら各自、優勝を目指してスタートして行きました。

荒天候の狭間で芝生の状態を心配しましたが、足下の状態もまずまずのコンディションでしたが、コースは見た目とは違いティーショットは方向性と正確性を要し、フェアウェイを外してラフに入れてしまうと大きく距離をロスしたり、グリーン周りはサイドバンカーがこっちに打つておいでと大きく口を開けて待っているなど、プレイヤーの創造力とテクニックが求められる難コースです。昨年同様チョロしたり、オーバーしたりとグリーンに載せるまで四苦八苦でした。



また、グリーンはどのコースも打ち上げで且つ微妙な起伏が有り、なかなか思うように入ってくれなかったですが、バーディーもいくつも出るなど一年ぶりの仲間との交流に心地よい汗を流し、実力を発揮できた方、そうでなかった方、それぞれでしたが、途中棄権する人もなく無事終了することが出来ました。



パークゴルフ終了後は、懇親会場の「南幌温泉」でのんびりと一風呂浴び汗を流した後に、懇親会場の広間に集まり、酒を飲み交わしながら成績発表と表彰が行われました。

特に個人戦で優勝した所司収世さんは、史上初の大会3連覇を成し遂げましたが、この快挙は今後なかなか達成できない記録となるのではないのでしょうか。本当に異次元の強さでした。上手な人は、ピンから5m以内はほとんど1パットで入れてくるのに対し、発展途上の私はまだ2m以内が精一杯ですが、優勝した所司さんはこれからもっと練習をして出来るだけ5m以内は1パットで入れられる様に、スコアはハーフ24、18ホール48が目標で全人未踏の4連覇・5連覇を目指しさらに精進し腕を磨くと力強く語っていました。ひょっとしたら現実のものになるかもしれませんね。



懇親会ではそれぞれが自慢の持ち歌を披露したり、終盤には菊地文彦さんが、得意のハーモニカを演奏し、昔懐かしい歌ごえ喫茶を彷彿とさせ、皆さん若かりし頃の歌を合唱し時間の経つのも忘れ楽しく親睦を深める事が出来ました。



さて、来年の日程は今年と同じく 6 月第 2 日曜日で次の日程等です。

日 程	2019年6月9日（日曜日）
集合場所	新さっぽろ「区民センター前」9時30分
会 場	P G J 倶楽部 南幌コース 「南幌温泉」

最近は参加者数も伸び悩みの状況ですが、年に一度でも、春の爽やかな季節に仲間が集いスポーツで汗を流し、お酒を飲み交わしながら交流することで身も心もリフレッシュできることはとても良いことです。

次回のパークゴルフ大会には一人でも多くの皆様の参加をいただき、楽しく有意義な1日を過ごしたいと思いますので奮ってご参加願います。



祝 傘寿・卒寿おめでとうございます

卒寿 中村 康元 様 相澤 恒男 様 武田 和夫 様
傘寿 山内 和男 様 福島 茂 様 宗片 啓 様

卒寿・傘寿の受賞のお礼と会員の皆様によりしくお伝えくださいとのメッセージが届いております。

中 村 康 元 様

この度は卒寿のお祝いを戴き有難うございました。

遠い過去を振り返りますと、長年の療養生活の後の再就職先として多少の紆余曲折がありましたが、学校事務職員として採用されたのが昭和34年4月31才の時でした。

以後定年まで29年間で9校を経ての退職です。

この間、多くの先輩の方々や、同僚、仲間の方々や時には後輩の方々にも多大の御支援や御厚情を戴いたことを心より御礼申し上げます。その折り折りに戴いた数多くの御教示や示唆が今日に続いていることを考えたとき、改めて感謝申し上げます。

退職以来30年、卒寿を迎えて愈々終活を急がねばと考えている昨今です。

末尾になりましたが、会員の皆様の御健勝と山水会のご発展の程を祈念申し上げ擱筆させて戴きます。

相 澤 恒 男

この度は、山水会からご丁重なるご祝辞や過分なるお祝いを頂戴し、誠に有難く、心から厚く、感謝とお礼を申上げる次第です。

振り省り見し90年、そして退職してからの30年、在職中には多くの先輩、同僚からのご支援のお陰により今日があると思い、改めてお礼申し上げます。

私は健康に自信はありませんが、山水会のますますのご発展と会員皆々様の御健勝を祈念致して居ります。有難うご座居ました。

福 島 茂

この度は傘寿のお祝いの記念品をいただきありがとうございました。

退職した頃は、お祝いをいただくまでは生きていないだろうと思っていた。又、今の様に学校数が激減すると想像もしていなかった。たぶん良い時代に生きて来たんだろうと思っています。

多くの方々と出会い、お世話になり感謝しています。ありがとうございました。

今は3度もガンの手術をして生かされていることを実感している。

日常生活が不自由なく出来る幸を強く感じている。

宗 片 啓 様

「思い出」

傘寿のお祝い誠にありがとうございます。

退職後の月日の経過は早く、20年の歳月が過ぎようとしております。財団法人を含め44年の勤務をしましたが、それなりに楽しく勤務出来た44年間であったと思っております。この間の勤務においては多くの方々のご支援、ご指導、ご厚情をいただいたからこそ現在に至れたと感謝しております。

さて、山水会々員として20年になりますが、この間、幹事・副会長・会長として会員の方の希望に添える様な運営がはたして出来たかと、自問・自答をしておりました。

今後、山水会の充実、発展を願い微力ではありますが側面から応援したいものと考えております。

山水会の益々の弥栄えを心より願いながら、傘寿のお祝い拝受の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

山 水 会 の さ だ め

(目 的)

第 1 条 本会は、退職北海道公立学校事務職員が相集い、教育の今昔を語り、親睦を深めることを目的とする。

(会 員)

第 2 条 本会の会員は、前条の目的に賛同し、会費を納入した者をもって構成する。

(事 務 所)

第 3 条 本会の事務所は、会長の所在地におく。

(役員・任期)

第 4 条 本会役員は、次のとおりとする。

役員は総会において選出され、その任期は2年とする。

(1)相談役 若干名 (2)会長 (3)副会長 2名 (4)幹事 若干名 (含む幹事長)
(5)監事 2名

2 会長は、幹事の中から幹事長を指名する。

(職 務)

第 5 条 役員の職務は、次のとおりとする。

(1) 相談役は、役員会の相談に応ずる。
(2) 会長は、会務を統括する。
(3) 副会長は、会長事故あるとき職務を代行する。
(4) 幹事長は、会長の命により会務の連絡調整を行う。
(5) 幹事は、会長の命により会務を行う。
(6) 監事は、会の会計監査を行う。

(総会・役員会)

第 6 条 総会は年1回これを開き、役員会は必要に応じ会長が、これを召集する。

(慶 弔)

第 7 条 本会の慶弔に関することについては、役員会において決める。

(会費・年度)

第 8 条 本会の経費は、会費及び寄付金によるものとする。

2 会費は年額 2,000円とする。

3 会計年度は、9月1日から翌年8月31日までとする。

(附 則)

- 1 この定めは、昭和42年4月よりこれを実施する。
- 2 この定めは、昭和48年9月より改正する。
- 3 この定めは、昭和52年9月より改正する。
- 4 この定めは、昭和57年10月より改正する。
- 5 この定めは、平成9年9月より改正する。
- 6 この定めは、平成23年9月より改正する。

お 知 ら せ

会員の皆様の健康増進と地域会員相互の親睦・親交を深めるため、本会では助成金を出しております。

次のような条件が整えば助成金をお届けしますので、是非これを活用して地域仲間の活性化を図ってください。

記

- 1 パークゴルフ etc
- 2 参加人数 ○○人（会員10人以上を含む、参加者名簿添付）
- 3 開催日 平成 年 月 日
- 4 地区区分 道南（函館市、近隣）、道北（旭川市、近隣）、道東（帯広市、近隣）
- 5 助成金 5、000円
- 6 送金方法 銀行振込（銀行名、口座名義人、口座番号）

来年の総会は、9月7日（土）15時からです。

会 場 「ホテル札幌ガーデンパレス」

札幌市中央区北1条西6丁目 TEL 011-261-5311

たくさんの会員の参加をお待ちしています！

編集後記

「山水会会報第33号」をお届けします。

今年の北海道は、台風21号や胆振東部地震といった大規模自然災害に見舞われるなど、予想し得ない出来事があった年となりました。これからは日毎に寒さが増してまいります。会員の皆様におかれましては、風邪など召さぬよう、くれぐれも健康に留意され、楽しく充実した毎日を過ごされるよう祈念申し上げます。

なお、本会についてのご意見、ご要望がありましたら、下記役員まで連絡願います。

（連絡先）

- ・庶務関係 幹事 佐々木 修
- ・会計関係 幹事 鶴田 靖子



平成30年9月8日

平成30年度北海道山水会総会

ホテル札幌ガーデンパレス